

日進月歩 ～一步先へ、みんなで前へ～

6年1組 時間割 3月14日～3月21日

	14日(月)	15日(火)	16日(水)	17日(木)	18日(金)
行事					
朝	朝読書	朝読書	朝読書	朝学習	朝学習
1	図工	総合	道徳	道徳	国語
2	図工	道徳	体育	国語	卒業式 全体練習
3	総合	国語	外国語	総合	体育
4	国語	卒業式 練習	卒業式 練習	社会	算数 にーごー
5	体育	社会	総合	卒業式 練習	社会
6	学活	外国語	理科	音楽	
特別な 持ち物					

卒業式集合写真の購入について

卒業式に学年で集合写真を撮影します。購入を御希望の方は、本日配付した封筒に代金を入れてお子さんに持たせていただければと思います。写真は、3月25日(金)の6年生の再登校日にお渡しします。

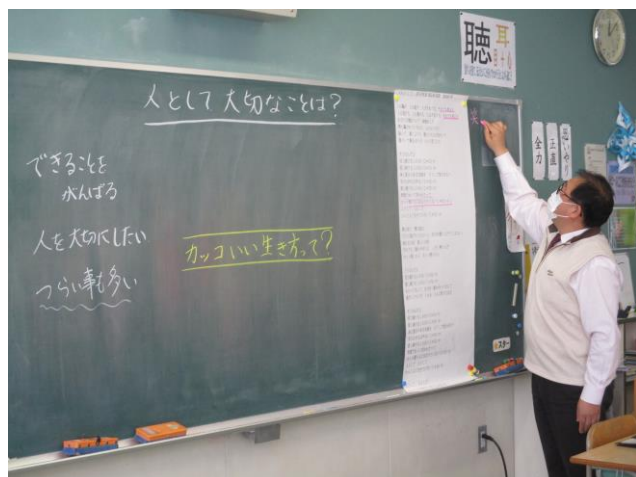
代金 1枚 800円

締切 3月16日(水)

人として

今週の水曜日に校長先生の特別授業が行われました。「人として」という同じ題名の二つの歌に込められた共通する思いを考える学習でした。

1曲目は海援隊の「人として」2曲目はSUPER BEAVERの「人として」どちらも初めて聴く子がほとんどでしたが、それぞれの歌のもつ力に引き込まれ、皆真剣に聞き入っていました。これからの自分の生き方、そして、これまで積み上げてきた学びを振り返るとっても素敵な授業でした。



人は人として出会い 人として人に迷い
人として人に傷つき 人として人と別れて
それでも人しか愛せない

信じ続けるしかないじゃないか 愛し続けるしかないじゃないか
身に覚えのある失敗を どうして指差せる?
受け止める以外はないじゃないか
愛し続けるしかないじゃないか
馬鹿だねって言われたって
カッコ悪い人にはなりたくないじゃないか
人として 人として かつこよく生きていたいじゃないか

どちらも、人としての強さを主張するのではなく、人の弱さと向き合い、苦しみながらも「人として」生きていくことについて歌った歌です。

子どもたちの授業後のふりかえりをみると、1時間の授業を通し、これから自分たちがどのように生きていくべきかを深く考えた子どもたちの様子が伝わってきました。

人に悪いこととして生きるより、人にいいことをして生きたほうがいいと言っている。(穂純)
自分がつらくても逃げずに進んでいくという気持ちが伝わってきた。(美月)

人らしく、自分らしく生きれば…でもカッコ悪いことはしない。自分がした事をちゃんと受け止めて、自分らしく生きる。(美咲)

人として受け止め、信じ愛し続けるしなかない、それが人としてカッコいい生き方。カッコ悪い生き方は、相手を傷つける。(悠大)

人は人を信じて愛して受け止めて、人として一生懸命生きていくしかないということ。(峻)

人として、自分の人生は後悔したくない。(奏羽)

人は、迷うこともある。でも、それを乗り越えていくのが人間。人は騙されることもあるけれど信じ続けるしかない。人だから失敗もするし、感情もでる。でも、誰かのせいにはしてはいけない。みんなちがって、みんないい。(さくら)

何度失敗したって、何度いやなことがあっても、笑いながら成長していく。人は人のまま生きていきながら迷ったり、失敗したりを繰り返して歩いていく。(果希花)

逃げたくても、誰かのせいにしたくても、人としてカッコ悪い人にはなりたくないから、人である以上受け止めて人として楽しく生きて、人としてカッコよく生きていたい。(旺誠)

人は人として生きること＝カッコいい生き方(全力、正直、思いやり) (我空)



二つの歌を聴いた後「カッコよく生きるとはどういうことだろう?」と校長先生が問いかけると、「真剣にやる。」「嘘をつかない。」「相手を受け止める。」との子どもたちの言葉。すると、校長先生が「それって、みんながこれまでしてきたことじゃないの?」と教室に掲示された「全力・正直・思いやり」を示してくれました。4年前、子どもたちに出会った時に初めて話したことが「いい人間になるために先生が考える大切な3つのこと」の話。それからの4年間、この3つの言葉を支えにして子どもたちは成長を続けてきました。校長先生の授業を通し、私や子どもたちがこれまで大切にしてきたことは「人として」の成長を

支えるためのものだったのだと気付くことができました。

これまで、自分を成長させてきたもののすばらしさを感じ、これからの人生においても「全力・正直・思いやり」が自分を支える大切な力になっていくということを子どもたちも実感できたことと思います。校長先生、本当にありがとうございました。